

# 図画工作のあれこれ

Q&Aと用具の解説から知る授業の基本

小澤基弘+埼玉大学小澤研究室 編著



未来をになう子どもたちへ  
日本文教出版

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

# もくじ

はじめに ----- 1

## 第1部 図工の授業のQ&A

Q 1 図工ってなにのためにやるの? -----	2
Q 2 作例の扱い方を教えて!! -----	3
Q 3 製作にうまく取り組めない子がいたら…… -----	4
Q 4 製作に行きづまっている子がいたら…… -----	5
Q 5 上手な絵を描かせるには? -----	6
Q 6 友だちの作品や作例をまねしていたら? -----	7
Q 7 キャラクターを描く子がいたら…… -----	8
Q 8 作品の完成の見極め方は? -----	9
Q 9 手が汚れるのを嫌がる子がいたら? -----	10
Q10 自分のクラスと他のクラスを比べてしまう…… -----	11
Q11 鑑賞の注意点を教えて! -----	12
Q12 作品の評価のポイントとは? -----	13
Q13 コンクールで入賞するには? -----	14

## 第2部 図工の授業で扱う様々な材料と用具

### えがく

描画材 -----	16
紙 -----	18
筆 -----	19
パレット・筆洗 -----	20
絵の具を使ったいろいろな表し方 -----	21

### うつす

版画の仕組み -----	22
木版画・紙版画・ステンシル -----	24

### つくる

粘土 -----	26
紙粘土を使った立体作品の作り方 -----	28
切る -----	29
つける -----	31

むすびにかえて ----- 33



# はじめに

多くの小学校の先生方は、実際に美術表現に関わった経験をほとんどおもちではないでしょう。「図工は他の教科と比べて自信をもって児童を指導することが難しい」と感じているのではないのでしょうか。

本冊子の第1部は、そのような図工の授業に関する悩みや問題について簡潔に答えた問答集となっています。

また、図工では材料や用具を用いて具体的な表現をしていきますから、知識と同時に「製作に対する実感」がとても大切です。

多くの先生方がおもちの図工教育に対する悩みのほとんどは、自らの製作実感の不足ゆえに生じているといっても過言ではありません。先生方には日頃から時間を見つけて、実際に絵の具を使ったり粘土に触れたりなどしながら、自分自身で表現する時間を少しでも設けていただきたいと思っています。

たとえば、先生自身が児童と一緒に同じ題材に取り組んでみるなど……。

表現体験を日頃から少しずつでも積み重ねていくことで、児童の様々なつまずきを実感としてとらえる力が培われます。

そのため、冊子の後半に絵の具や粘土などの基本的な解説も加えました。

この冊子は本当にささやかなものですから、先生方のご要望に十分には答えられていないかもしれません。しかし、これをきっかけに図工の授業を見つめ直したいと思っていただければ幸いです。

埼玉大学教育学部 芸術教育講座美術分野 教授  
小澤 基弘



# Q1 図工ってなにのためにやるの？

**A** 図工は子どもたちが自分のもつ力を伸ばそうとする姿勢、つまり「創造性」を養う教科です。

自分の内側にある何かしらを表に出すこと。その結果に対して満足すること。これは「自己実現」であり、図工にはその基本が詰まっています。

図工には唯一の「答え」はありません。

子どもたちはそれぞれに多様な「答え」をもっています。あなたがこの多様性をきちんと理解していれば、子どもたちは安心して自分の表現ができるでしょう。そのとき、子どもたちは『自分の思いや考えが「かたち」になった!』と大きな満足感を得ているはずです。

そして、こうした満足感、つまり「自己実現」を積み重ねていくことができれば、子どもたちには自分もつ「力」を更に広げ伸ばしていこうとする自然な欲求や姿勢が身につくでしょう。

そうした姿勢をここでは「創造性」と呼びたいと思います。

図工は、このような「創造性」を他の教科にも増して直接養うことができる可能性を秘めている教科なのです。





# Q2 作例の扱い方を教えて!!

**A** 「いつ」「どのような作例を」「どのように」子どもたちに示すかがポイントです。

初めて出会うテーマに取り組む子どもたちにとって、作例は大事なヒントとなりますが、使い方には注意が必要です。

はじめは言葉と素材等を用いて題材の目的や方法についての説明を行い、発想や構想の部分で苦慮している子どもたちが多く見かけられるときに、教室全体に対して適切な作例を示すことが効果的でしょう。

一口に「作例」といっても、必ずしも完成作品である必要はありません。序盤、中盤など、製作の段階に応じてふさわしい作例を示すことができるよう工夫しましょう。

どのようなものを用いるにしても、複数用意しておくことをおすすめします。

## 〈 作例の提示例 〉

### はじめ

言葉や素材等を用いて  
題材の目的・方法を説明

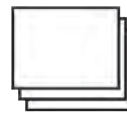
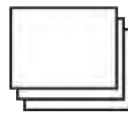
序盤

教師が  
製作した作品

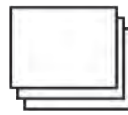
過去に指導した  
子どもの作品

作家の作品

その他



中盤



終盤



発想や構想の部分で苦慮する子どもが多いとき、教室全体に向けて示す。

それぞれ複数枚用意しましょう!

# Q&A

## Q3 製作にうまく取り組めない子がいたら……

**A** 表現への最初の一步、それを踏み出せるような言葉かけや環境づくりが大切です。

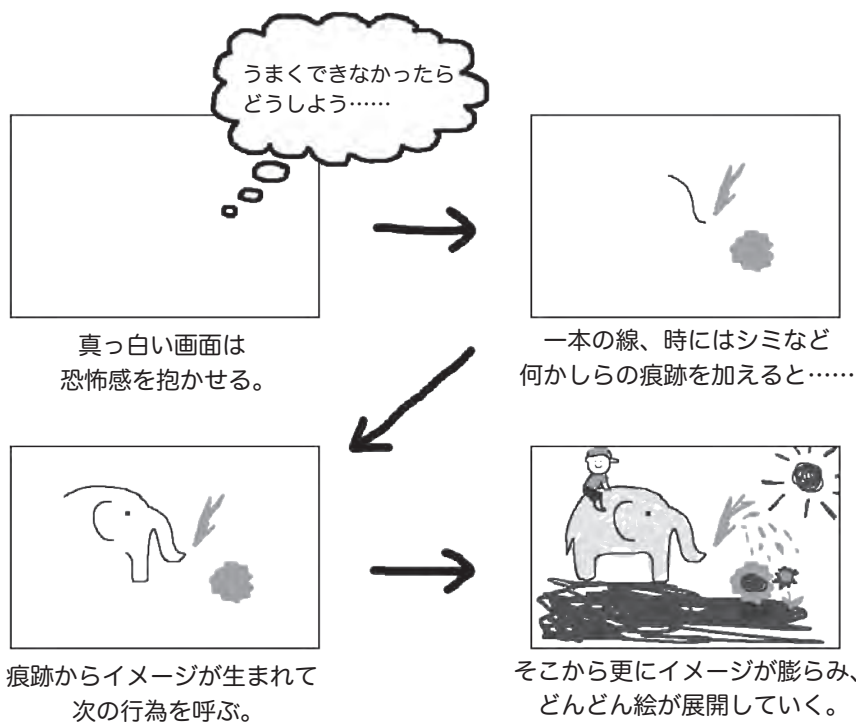
題材の意味や目的がよく掴めていない子どもに対しては個別に対応し、それが掴めるまで丁寧に説明してあげましょう。

また、自信のなさや失敗への不安ゆえに慎重になりすぎて製作に取り組めない子どもには、とにかく表現に着手させることが肝要です。

このような子どもたちは、たいてい真っ白い画面に対して一種の恐怖感を抱いています。ある程度考えさせる時間も必要ですが、はじめにイメージありきではなく、絵を描く場合には一本の線とか一色での彩色……というように、画面にとりあえず何かの痕跡を加えるように推奨する方がよいと考えます。

最初の痕跡が次の行為を自然に呼ぶことでしょ。

それを繰り返していけば、少しずつ表現することが楽に感じてくるはずですよ。



# Q4 製作に行き詰まっている子がいたら……

**A** 子どもたちのつまずきを受け止め、  
それに潜む要因を見極めることが必要です。

どうも製作に前向きに取り掛かれない、すぐに飽きてしまう、  
行き詰まってどうにもならなくなってしまふ……。

そんな子は沢山います。

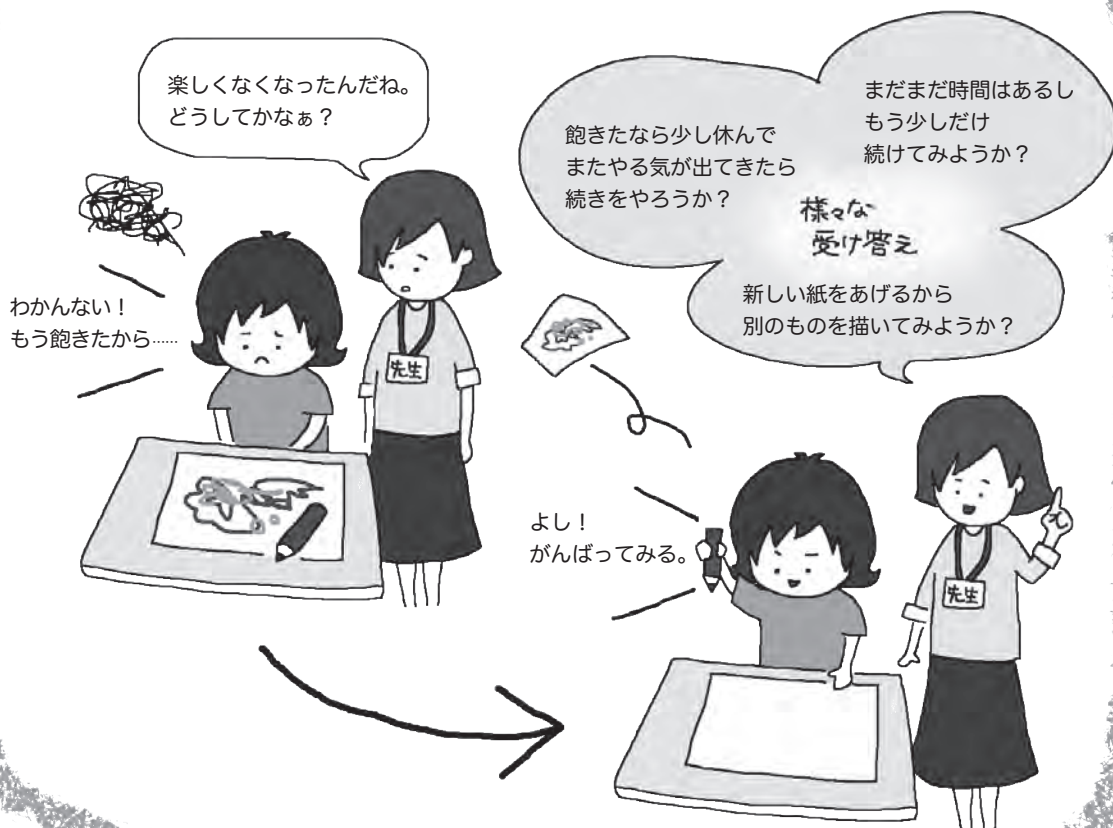
こうした子どもたち全員に通じる解決策はもちろんありません。

まずは、そのつまずきをあなたが肯定的に受け止めてあげましょう。

そして、製作にうまく取り組めない理由を静かに問いかけてあげます。

それぞれのつまずきには必ず要因があるはず。

子どもとの対話から何を見取ることができるのかがとても大切です。





## Q5 上手な絵を描かせるには？

**A** 子どもたちそれぞれが持つかたちや色のとらえ方を伸ばすようにしましょう。

あえてここで「上手」という語を使うのであれば、子どもたち個々が有する表現上の特質を率直に、そして十全に発揮させてあげることです。

子どもが見たままをその通りに再現したいと希望して試行錯誤をしている場合、うまくいかずに苦しんでいるならば、ある程度は知識的・技術的な説明をしてあげることが必要だと思います。

しかし、子どものものの見方、その再現の仕方は千差万別です。

皆がいわゆる写実的な表現を得意とするわけでもなく、それを好むわけでもありません。かたちや色のとらえ方は多種多様です。

それらを、子どもたち個々が有する唯一無二の特質ととらえ、伸ばしてあげてください。



## Q6 友だちの作品や作例をまねしていい？

### A 「まね」を表現の出発点ととらえましょう。

基本的にまねをすることは悪いことではありません。

自分自身の表現を知る上で、人の表現をまねてみることは自然な欲求であり、意味のあることです。

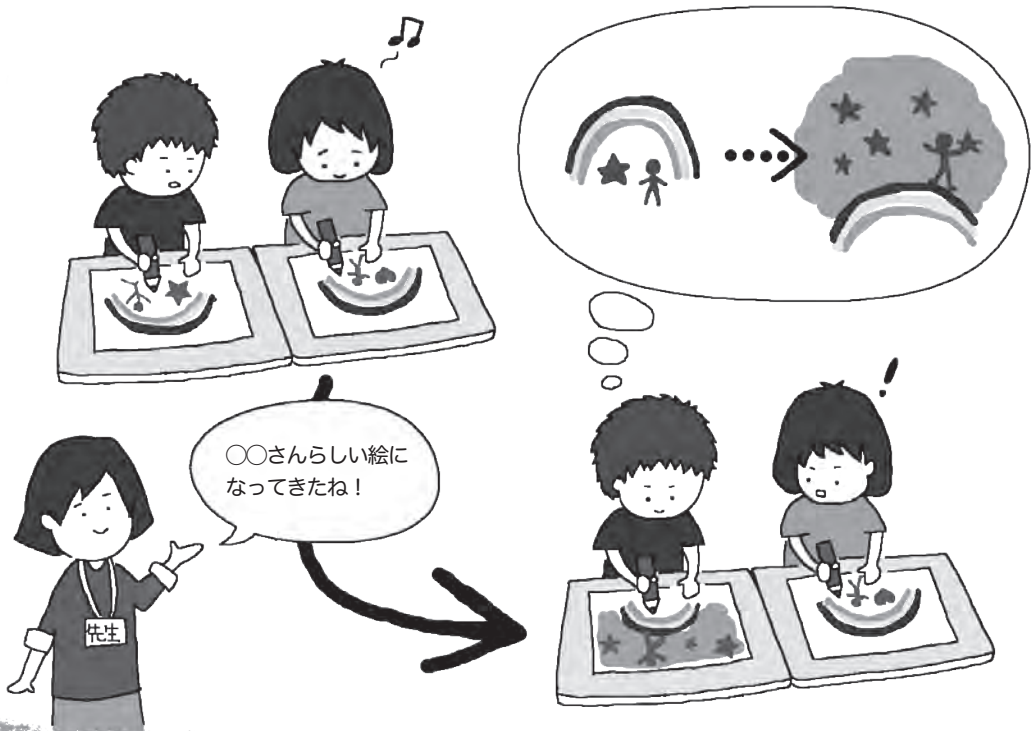
子どもはなんでもかんでもまねるわけではなく、自分の好みに合うと感じるからまねるのです。

ただし、まねただけで終わるのはよくありません。

まねは表現の出発点です。

まねることで子どもは表現の始動ができていますから、次はそれをちゃんと自分の表現として消化し始めるはずです。

友だちや作例のよいところを自分の中に取り入れて、それを自分の思いや考えと重ね合わせながら、やがて自分なりの表現を生み出していくことになるでしょう。



# Q7 キャラクターを描く子がいたら……

**A** 子どもたちの表現を否定せず、独自のキャラクターをつくるようにすすめましょう。

こうしたケースは学齢によらずかなりの頻度で見られます。

昨今はアニメやマンガのキャラクターに接する頻度が高い「視覚優位の遊び」が増えてきているため、子どもたちにはそれらのイメージがどうしても刷り込まれてしまうのです。

アニメやマンガのキャラクターは、かつては美術の範疇では語られませんでした。今はそれらもまた美術やアートの大事な表現の一つとして位置づいています。それは美術の裾野を広げるという意味で大切なことです。

しかし、創造性の発揮という側面から考えると、子どもたちが安易にキャラクターをまねすることはすすめられません。

子どもたちの表現を肯定しつつ、独自の創意工夫に溢れたキャラクターづくりを奨励するとよいでしょう。





# Q8 作品の完成の見極め方は?

**A** 子どものいう「完成」が本心からのものなのか、飽きて  
そうしているだけなのかを判断しなくてはなりません。

作品を見たとき、子どもの主張に納得できるなら、それは完成だと判断してよいでしょう。でも、どう見ても中途半端な状態に映るなら、やはりそれを子どもに正直に伝える必要があると思います。

図工において、表現のプロセスをいかに充実したものにするかは大切な問題です。しかし、子どもたちが納得して表現を終えているのか、つまり「完成」をどこに見るのかもまた大切な問題です。

教師であるあなたには、子どもたちの表現の完成を的確にとらえられる目が求められます。



あなたはこの絵をどう判断しますか?

# Q9 手が汚れるのを嫌がる子がいたら？

**A** 少しずつ材料に触れることへの抵抗感を払拭できるようにしていきましょう。

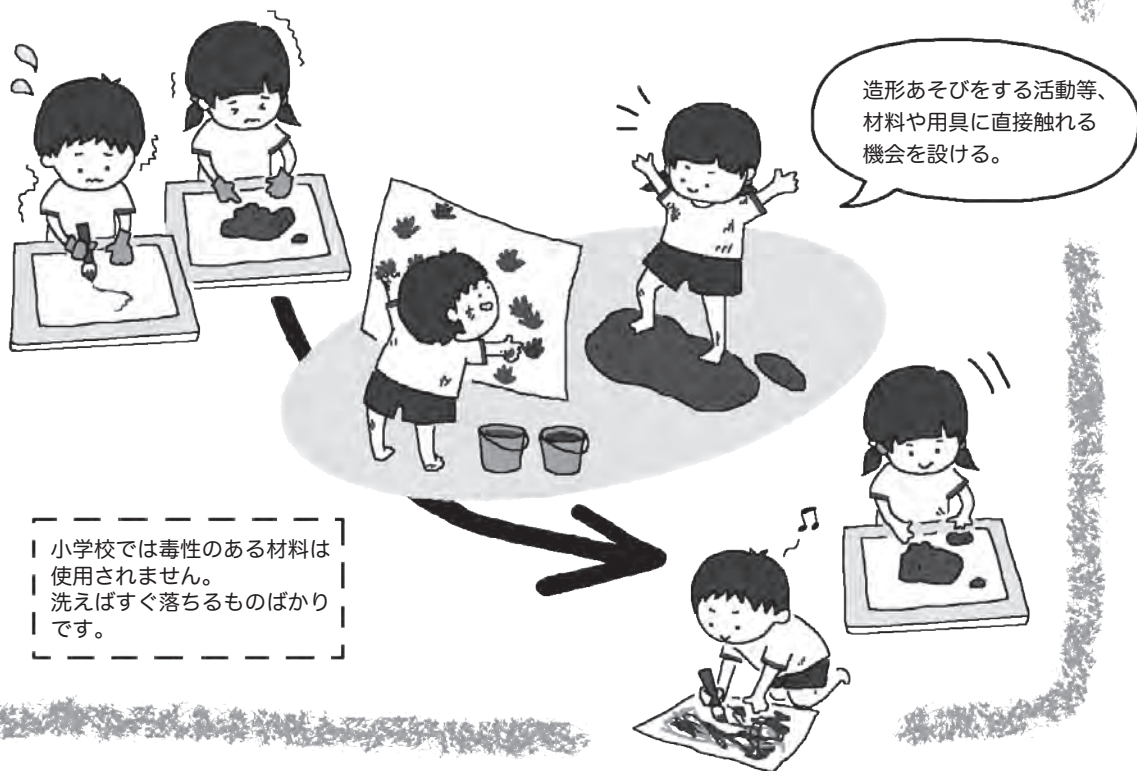
屋外で遊ばずに室内でテレビやスマートフォンでゲームに興じる子どもが圧倒的に増えてきている現在、子どもたちが様々な材料や用具に触れる機会が激減しました。

そのため、子どもたちに素手で絵の具や粘土等の材料を扱うことへの抵抗感が生まれているのではないのでしょうか。

このような場合、材料に触れることへの抵抗感を少しずつでも払拭できるような指導が求められます。

材料のもつ表情や性質等を理解するには直接の接触が一番ですし、図工の授業はそれらに直接触れる経験ができる貴重な機会です。

ただし、急に馴染ませようとするのはかえって逆効果となることもありますので、子どもに応じて少しずつそれができるように指導していくことが肝要だと思います。



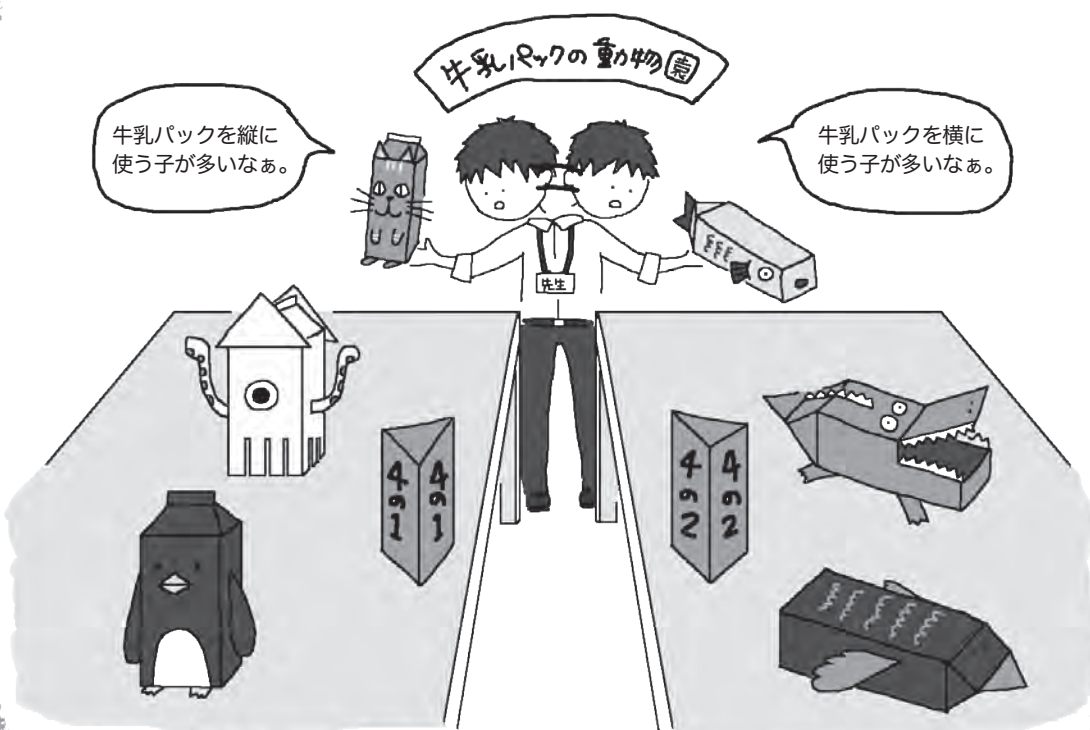
# Q10 自分のクラスと他のクラスを比べてみよう……

**A** 自他のクラスの作品の傾向を意識して見ることで  
子どもの表現に対する理解を深めましょう。

他のクラスの子どもの作品を気にすることは、そこから自分のクラスには見られないような表現を見つけたり、逆に自分のクラスの子どもの表現の傾向に気づいたりするなど、相対化された視点から題材の成果を理解できる機会だと思います。教師は常に子どもの多様な表現に配慮しているとはいえ、やはり自分のこれまでの個人的な教育経験や、各々がもつ感受性などに縛られることは避けられません。

同一の題材でも、クラス毎に子どもたちの表現の傾向が異なることはしばしば起こります。

クラス相互に子どもたちの作品の傾向を意識し、それを自分なりに把握することによって、教師は子どもの表現に対する理解の幅を更に広げることができるようになるはずなのです。





# Q11 鑑賞の注意点を教えて!

**A** 鑑賞が自然にスムーズに進められるような雰囲気づくりを心がけましょう。

図工の授業では、表現だけではなく鑑賞も同様に大事です。

鑑賞することによって、よいところと同時に反省すべきところも見えてきます。

鑑賞では、自然にスムーズに進められるような雰囲気づくりが大切です。

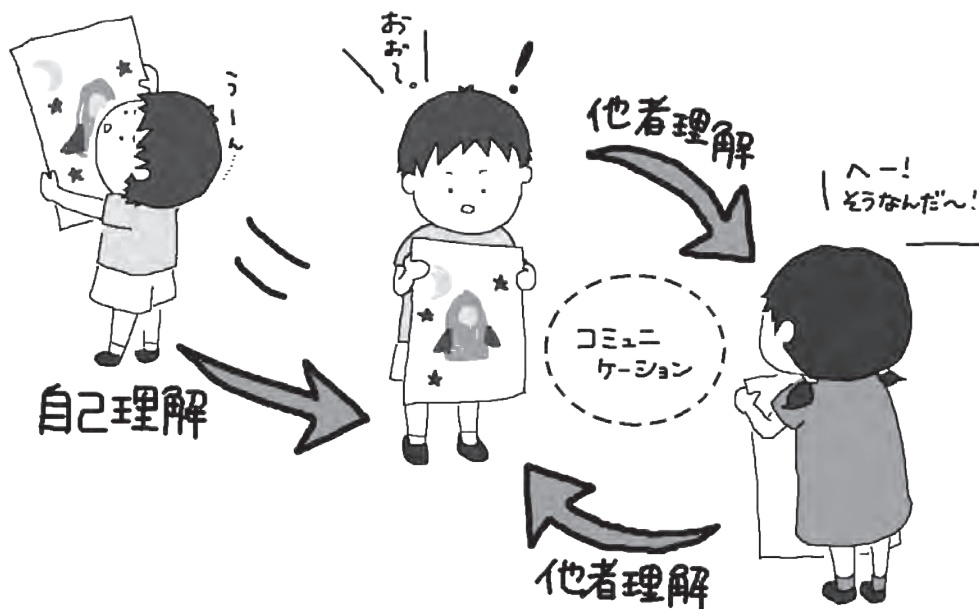
まず自分の作品を見て、ある程度自己理解が深まった上で、次に友だち同士で作品を鑑賞し合うとよいでしょう。

そうすると、自分の作品との比較のなかから、友だちの作品に対して様々な思いを抱くことができるようになります。

そうした思いを相互に伝え合うことで、作品を仲立ちとしたコミュニケーションが成立するのです。

これは他者理解ともいえます。

つまり、鑑賞とは自己理解と同時に他者理解をも深めるとも大切な活動であり、表現同様に極めて創造的な活動といえるのです。



# Q12 作品の評価のポイントとは?

**A** 作品を見たときの印象を出発点に、それぞれの作品について考えていきましょう。

一つの題材に対して到達目標が設定されていると思いますので、まずはそれを軸に評価を考えることになるでしょう。

ただ、作品は多種多様な要素が絡み合っただけでオール・イン・ワンで存在していますから、題材の目標だけをそこから抽出するのはとても難しいことです。

評価の際に大切にしなければならないことは、作品を見てその全体からあなたが感じる第一印象です。

作品から受ける最初の印象のなかに、評価の鍵があると考えてもよいでしょう。

その第一印象を自分がどうして感得したのか、その理由について、更に作品をよく眺めながら考え、気づいていくプロセスが子どもの作品の評価に必要な手順だと考えます。まず全体の印象、そして細部の検証、この順番です。

## 評価のポイント

普段から問題意識をもちながら、子どもの作品や美術全般の作品に接することで感受性を養う。



そうすると……

作品への第一印象が今よりも明確になり、自信をもって子どもの作品を受け入れることができるようになる。



その結果……

子どもの作品を自信をもって評価することができる力となる!



# Q13 コンクールで入賞するには？

**A** 過去の受賞作の傾向に合わせて作品をつくらせることは間違いです。

すでにコンクールが定着している現状にあっては、その存在を根源的に否定することは難しいでしょう。コンクールでの子どもの作品の評価が、それを指導する教師への評価となっていることもまた事実です。

それが指導のモチベーションになっている先生も少なからずいるでしょう。

しかし、多様な子どもたちの表現を受賞作の傾向に合わせて指導することは、完全な間違いです。

すばらしい作品は「傾向と対策」で生み出されるものではありません。

子どもたちが自分の気持ちと意欲や好みに率直に、そして熱中しながら表現した結果こそがすばらしい作品となるのです。

授業は教師の評価のためではなく、あくまで子どもたちのためにあります。

「コンクールに向けて」ではなく、子どもたちが自らの表現をいかに発揮できるよう指導する必要があります。





# 第2部

## 図工の授業で扱う 様々な材料と用具

これから解説する図工の授業に関わる主な材料や用具、そして方法は、先生方が図工の授業に際して理解しておくべき基本中の基本です。図工の授業は、材料や用具を通して展開される具体的な内容を伴いますから、これらの知識、そして実際にそれぞれを扱った経験はとても重要です。それらに不安を抱えている先生は、まずはここから出発し、知識や経験を更に獲得していきましょう。



# えがく

絵の具などの描画材は、石や土などを定着させるための「糊」を合わせてで

## 描画材

=

顔料

+

粉末状

ろう  
蝋

白い  
粘土質の粉

植物油

### クレヨン

乾燥した顔料と溶いた蝋を混ぜて固めたもの。安全で使いやすいため、幼児期から広く使用されます。

※「パス（オイルパステル）」はクレヨンの油脂成分を増やしたものです。ツヤがあり、よりなめらかに描けます。

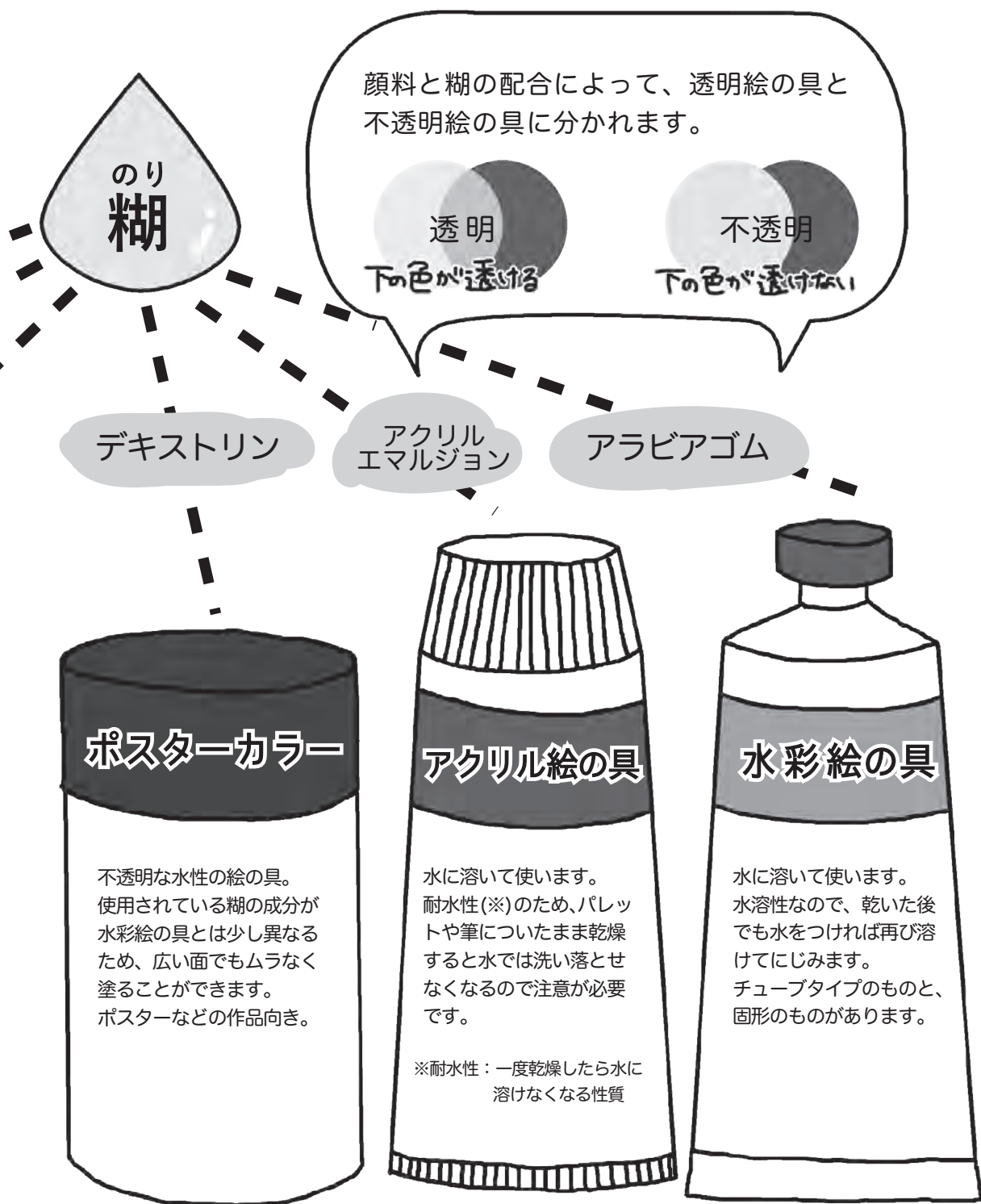
### パステル

乾燥した顔料と白い粘土質の粉を固めたもので、チョークに似ています。描いた後は、粉末の顔料が落ちないように定着剤（フィクサチーフ）を施します。

### 油絵の具

物質感の強い重厚な絵の具。乾燥する性質をもつ植物油が糊の役割をしています。油を使っているため、乾燥に時間がかかります。

粉末状にした「色のもと＝顔料」と、色を支持体（紙など）にきています。





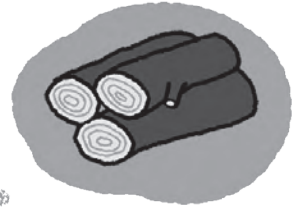
# 紙

## について

紙には多くの種類があり、手触りや厚みなど風合いも様々です。

紙の主な原材料は木材等からつくられる「パルプ」です。また、大きく「洋紙」と「和紙」に分けられます。

- ・洋紙：機械で大量生産することができ、印刷に適している。
- ・和紙：手漉きのため、表面は粗いが保存性が高い。



## 紙の重さ(≒厚さ)を表す方法

- 坪量 … 面積 1 m<sup>2</sup>あたりの洋紙の重さ
- 連量 … 一定のサイズにつくられた紙 1000 枚の重さ

## 紙の種類 (水彩に適しているもの)

### 画用紙

坪量：約105～190 g/m<sup>2</sup>  
最も一般的な紙。  
厚みがあり、水彩画や簡単な工作に用いられる。  
また、消しゴムをかけても毛羽立ちにくい。表面は少しざらつきがあり、裏面は少し滑らか。

### 水彩紙

坪量：約 300 g/m<sup>2</sup>  
吸水性がよく、表面がでこぼこしているため水彩画に向いている。  
表面の処理は細目・中目・粗目の3種類。粗目の方が絵の具がのりやすい。

### ケント紙

坪量：約 210 g/m<sup>2</sup>  
表面の凹凸が少なく、とても滑らかな紙。  
つるつるしているため、あまり絵の具がにじまない。画用紙や水彩紙よりも固く、色が白いのも特徴。

### ボール紙

坪量：約350～450 g/m<sup>2</sup>  
板紙とも呼ばれ、非常に厚い(約3～5mm)。  
藁(わら)パルプを原料にした「黄ボール」、木材パルプを原料にした「白ボール」など様々な種類がある。

### 和紙

坪量：約 80 g/m<sup>2</sup>  
古くから日本でつくられている紙。障子やふすまなどの建具にも用いられている。水分をよく吸収するため、にじみを生かした表現ができる。

### 色画用紙

坪量：約120 g/m<sup>2</sup>  
はじめから色がついている画用紙。画用紙と同様に工作にも用いられる。描画の支持体に用いる場合、はじめからついている色を背景色として生かすことができる。

# 筆

## について

筆には様々な種類があり、毛先の材料やかたちによって描き心地や引くことができる線が大きく変わります。



### 動物の毛



ブタ



リス



ウマ など

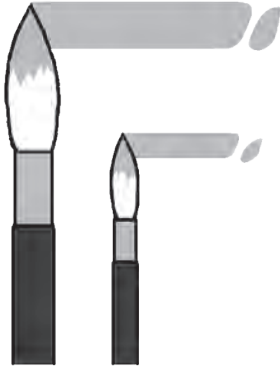
### 化学繊維



ナイロン など

筆の毛先には、動物の毛や化学繊維が使われています。用いられる材料によって毛先の柔らかさや描き味が異なります。水彩用の絵筆の材料は、主にリスやイタチ、ナイロン等の軟毛が中心です。

## 筆の種類



### 丸筆

描く強さによって、太い線や細い線を描くことができます。塗る箇所に合わせて筆の太さ(号数)を変えます。



### 面相筆

細い線を引くことができ、細かい描写が可能です。そのため、広い面積を塗るのには適していません。



### 平筆

均一な線を引くことができるため、広い面を塗るのに適しています。筆を立てて使えば、細い線を引くこともできます。



### 刷毛

大きい面積を一気に塗り進められます。水張り(※)をする際にも用います。

※ 水張り  
水彩絵の具を使用する際、水分を含んで紙が歪まないよう、描く前に水で濡らした紙をパネル等に貼り付けること。

# えがく方法

## パレット

### 絵の具を出すところ

似ている色を近くに並べると使いやすい。

### 絵の具を混ぜるところ



筆が痛むので、絵の具を混ぜるときは筆を乱暴に動かさないようにしましょう。

## 筆洗

### 筆を洗う水

筆を洗うときはまずここで！

### 筆をすすぐ水

よく洗った後に筆をすすぐ。

### 絵の具を溶くための水

絵の具を伸ばしたり、色を混ぜたりするときに使う。

「筆を洗う水」と「絵の具を溶く水」は分けましょう。

濁った水を使うと色も濁ってしまいます。

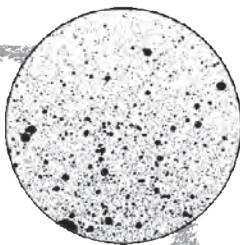


絵の具を使った

# いろいろな表し方

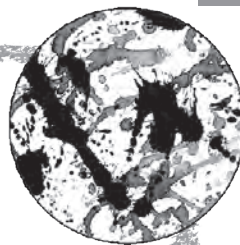
## スパッタリング

絵の具をつけたブラシで目の細かい網をこすって表現する。固めのブラシを指でこすってもよい。紙に型紙を置いておけば模様を描くこともできる。



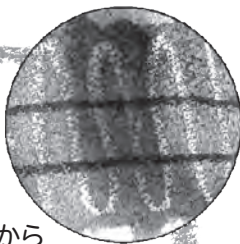
## ドリッピング

多めの水で溶いた絵の具をたらして表現する。筆を振って絵の具を飛散させる他、紙にたらした絵の具をストローや口で吹いて図柄をつくってもよい。



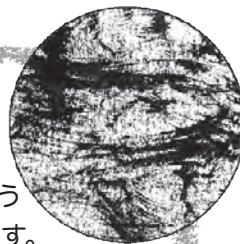
## バチック

クレヨンなどの油性の描画材で描いた図柄の上から多めの水で溶いた絵の具を重ねる方法(油性の描画材で描いた箇所は絵の具を弾くため色がつかない)。



## ドライブラシ

絵の具を水で溶かずに使うことで、かすれた質感を出す。筆に水がついている場合は布などでよく水分を拭きとってから行うようにする。



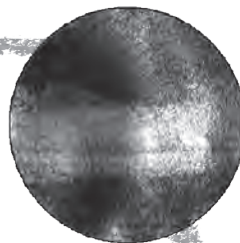
## にじみ

多めの水で溶いた絵の具で図柄を描き、それが乾かないうちに更に別の色で描くことで色同士が交じり合ったような表現をする。



## 洗い・拭き取り

一度描いた箇所に水をつけて部分的に色を抜く方法。アクリル絵の具の場合は乾くと耐水性になるので、完全に乾く前に行う。

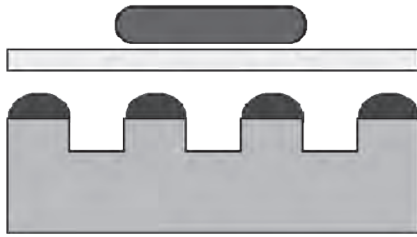


# うつす

「えがく」だけでなく、「うつす」こと  
「えがく」場合と違い、繰り返し同じ

## 版画の種類 版画は版のつくり方・印刷の仕方によって幾つ

版の出っ張っているところに  
インクをつけて  
それをうつしとる方法



彫ったところに  
色はつきません。

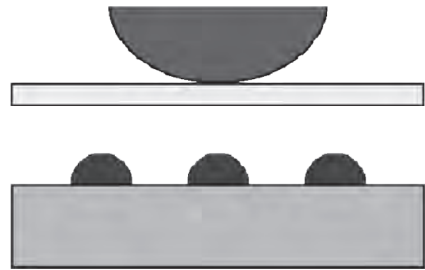
### おんがわ 木版画

歴史が古く、500年以上前から  
用いられている。木の板を版に  
用いる。輪郭線を残す方法と、  
輪郭線を彫る方法の2種類がある。

### おんがわ 紙版画

画用紙やボール紙などを版にする。  
手でちぎることができるため、  
刃物を使わなくても版をつくる  
ことができる。

版の中でインクがつく部分と  
インクを弾く部分を  
つくって印刷する方法



水がついたところは  
色がつきません。

水がつかないところは  
(油性インクをはじく)

### おんがわ デカルコマニー

紙の上に絵の具を置き、その紙を  
2つ折りにしたり、別の紙を上か  
ら重ねて押し当てたりすることで  
偶然生まれる模様を転写する。

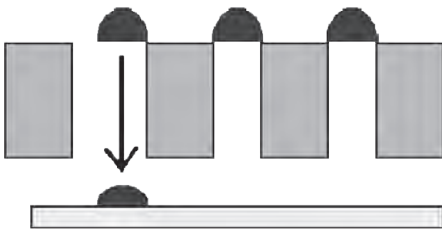
### ○ リトグラフ

油性の描画材で図案を描いた石版  
に薬品を塗って化学反応を起こし、  
版を親水性の部分と親油性の部分に  
分けることで印刷できるようにする。

も表現方法の1つです。代表的な方法として、「版画」が挙げられます。図案を表すことができるのが版画の特徴です。

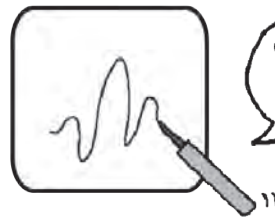
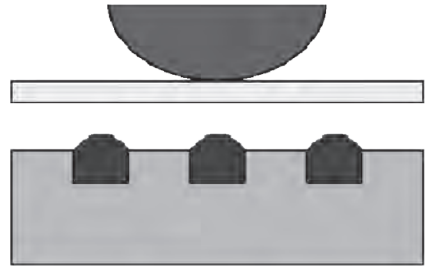
かの種類に分けられます。

版にインクが通過するための  
あな  
「孔」をつくることで  
印刷する方法



孔があるところに  
色がつきます。

版のへこんでいるところに  
インクを詰めて  
それをうつしとる方法



用いたところに  
色がつきます。

## おっかろ ステンシル

文字や図案を切り抜き、孔をインクが通過するようにする。着物の柄などはこの方法でつけられることが多い。

## ○ シルクスクリーン

シルクを張った木枠を用いて、網目が潰れてインクを通さない部分とインクを通す部分をつくることで製版する。

## ○ ドライポイント

ニードル(※)で銅板をひっかくことで図案を描いて版をつくる。

※ ニードル  
先が鉛筆のように尖った硬い金属製の棒

## ○ エッチング

松ヤニの膜を張った銅板をニードルで削って図案を描き、それを腐食液にひたす。すると削った箇所のみが腐食され、版が完成する。



# うつす方法

## 木版画

### ① 版木を彫る

版にする木には様々な種類があります。彫りやすいため「板目」の板を使うことが多いのですが、硬い「木口」の板を使うとより繊細な表現ができます。

#### 版木によく使用される木

##### シナベニヤ

柔らかく彫りやすい。安価なこともあり、最も普及している版木。

##### 桜（サクラ）

堅いため、細かやかな表現ができる。浮世絵の版によく使われていた。

##### 朴（ホウ）

軽い木材だが、比較的堅いため細かな表現をすることもできる。

##### 桂（カツラ）

比較的柔らかい。芯材は赤い色をしている。粘りもあるため、彫りやすい。

#### いろいろな彫刻刀



切り出し刀

細い切り込みを入れるときに使う。



平刀

広い面を彫るときや、彫り跡をならすときに使う。



三角刀

細い線や鋭い線を彫りたいときに使う。

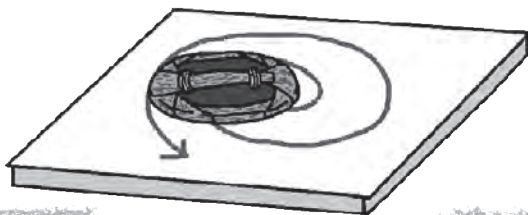


丸刀

三角刀よりも太めの線を彫ることができ、汎用性が高い。

### ② 刷る

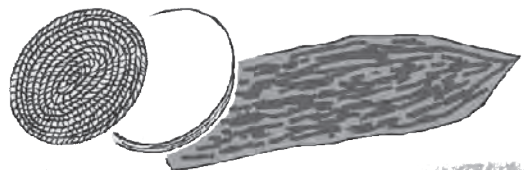
インクをつけた版に紙を乗せ、ばれんを使って刷ります。ばれんは中心から外側へ向けて円を描くように動かします。



#### ばれん

竹の皮でできたこりを渦巻状にまとめたものと和紙などの薄い紙を何層にも貼り合わせたものを1つにして、竹の皮で包んであります。

日本独特の用具で、「BAREN」は国際語です。



#### 板目

繊維にそって彫ることになるので彫りやすい。



#### 木口

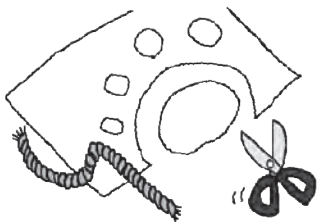
繊維を断ち切って彫ることになるので堅い。

版画の方法として木版画、紙版画、ステンシルの手順を簡単に紹介します。「うつす」方法には、この他にも、マーブリングやフロッタージュなど、様々な方法があります。

## その他

### 紙版画

#### ① 下絵を切り取って版をつくる



「コラグラフ」のように布やロープを版にしても面白い表現ができます。

#### ② 版にインクをつける



ローラーを使って用意した版にインクをつけます。

#### ③ 刷る



版のインクがついている面を下にして刷ります。  
多色刷りをしたいときや高さの違う版があるときは何回かに分けてください。  
上から紙を当てて刷るときれいに仕上げることができます。



### ステンシル

#### ① 下絵を切り取って版をつくる



#### ② 紙を重ねてインクをつける



棒に布やスポンジを巻きつけたもので色をつけていきます。

# つくる

絵の具などは主に平面作品に使いま  
多くあります。

## 粘土の種類

粘土は可塑性が高く、立体作品をつくる  
元来は土からできていますが、現在は様

### 油粘土



油脂を主成分としているため、乾  
燥に強く、時間が経っても固まり  
ません。繰り返し使うことができ  
ますが、硬化しないので展示には  
不向きだといえます。作品として  
残しておきたい場合は石膏やシリ  
コンなどで型取りをするのが一般  
的です。

### 土粘土



油脂が含まれていないため、乾燥  
させると硬化します。テラコッタ  
などが代表的なもので、しっかり  
と水分をとばせば焼成することが  
できます。焼成していないものは、  
一度乾燥しても水を加えてふやか  
すことで再び粘土として用いるこ  
とができます。

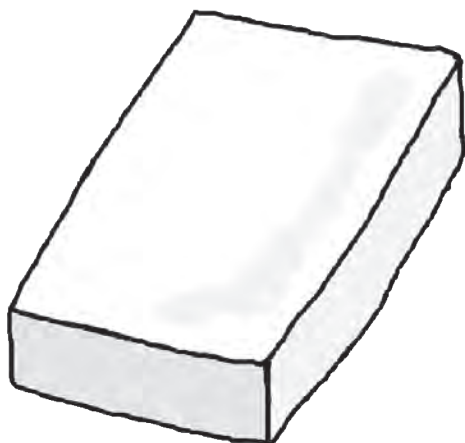


すが、立体を「つくる」ときは粘土や木を組み合わせてつくる場合が

のに向いている材料です。

々なものを混ぜ合わせてつくられており、非常に多くの種類があります。

## 紙粘土



紙の原料であるパルプに水や糊を加えてつくられています。乾燥すると硬化するのが特徴です。乾燥後は水彩絵の具等で彩色することができます。また、白い色をしているので、水彩絵の具を混ぜることで色のついた紙粘土をつくることもできます。

## 他にもある粘土

### 木質粘土



木粉やコルクの粉などが混ざっている粘土。乾燥すると木のような質感になるため、作品が木彫のような風合いになります。乾燥したものはやすりなどで削ることができます。

### 樹脂粘土



アクリルやビニル系樹脂が含まれている粘土。紙粘土に似ていますが、乾燥すると紙粘土よりも硬くなります。透明度が高いものや耐水性のものもあります。

### 石粉粘土



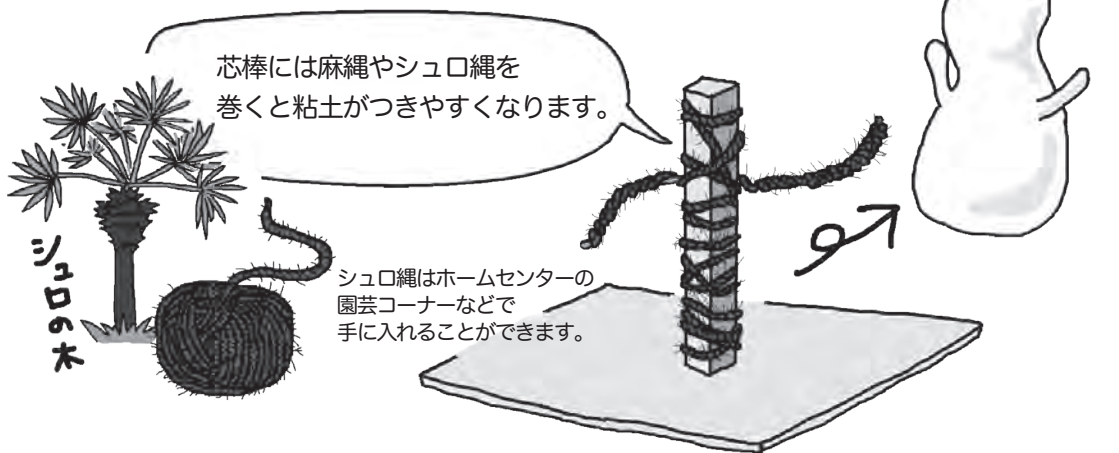
細かい石の粉からできているため表面がなめらかで、乾燥させると固くなります。乾燥後は彫刻刀で彫ったりやすりをかけたりして加工することもできます。

紙粘土を使った

# 立体作品の作り方

① 木材や針金で芯棒をつくる (ペットボトルや瓶でも代用可)

② 芯棒に粘土をつけ、大まかな形をつくる



③ 細かくつくっていく



ヘラや手を使って細かく作りこんでいきます。

竹串や割り箸なども道具として有用！作業中の粘土にはビニル袋などを被せて空気に触れないようにしてください。たまに霧吹きで水分を与えると、ヒビ割れを防ぐことができます。

④ 乾燥・仕上げ



1~2日程度乾燥させ、水彩絵の具等で彩色します。

仕上げにはニスを塗ると絵の具の剥がれや再溶解を防げます。

ニ스에絵の具が混じることを防ぐため、塗るときは絵の具が完全に乾いていることを確認してください。

# つくる方法 切る

## はさみ



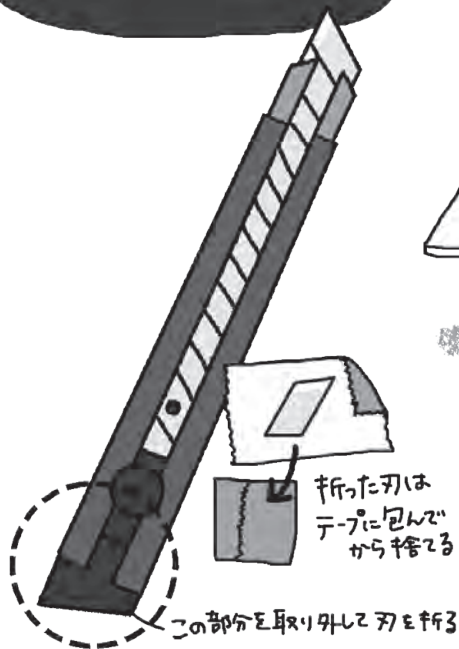
はさみといえど刃物です。  
手渡すときは、刃の  
方を持ちましょう。



### 使うときのポイント

- 紙を動かしながら切っていく。
- 刃先ではなく、刃の根元の方で切る。
- 手を切ってしまう危険があるため、紙を持つ手は刃先より先にもってこない。

## カッター



### 使うときのポイント

- 刃の角度は30～40度くらい。
- 奥から手前の方に引いて切る。
- 力を入れすぎない。
- 切れ味が悪くなったら、すぐに刃を折るか、もしくは交換する。



# 切る

## つくる方法



のこぎり

鋸

片刃鋸

片側だけに刃がついている。横引き刃がついている場合が多い。

両刃鋸

縦引き刃と横引き刃の両方がついている。

「替刃式」なら目立てなどの手入れをする必要がなく、カッターのように刃を交換することができます。

縦引き刃

木目に沿って切るときに使う。  
木材に対する角度は15度くらい。

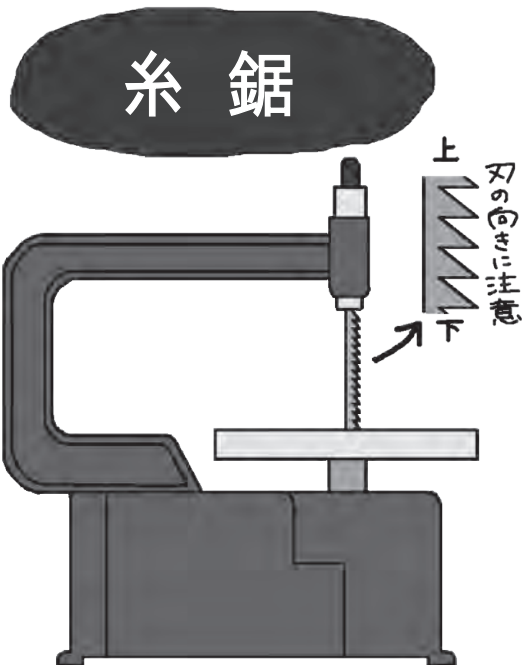
「縦引き刃」というだけあって、のこぎりの刃は引くときに切れるようになっています。

横引き刃

木目を横断するように切りたいたときに使う。  
木材に対する角度は30度くらい。

### 使うときのポイント

- 押すときには力を入れない。
- 刃がついているところ全体を使う。
- 材料が欠けることを防ぐため、終盤は材料を支えながら切る。



糸鋸



切り抜きたいときは  
錐(きり)で木材に穴を開け、  
そこに刃を通して切り進める。

### 使うときのポイント

- 刃の取り付け・取り外しのときは糸鋸の電源を切る。
- 切りたいたちに合わせて板を動かしながら切る。

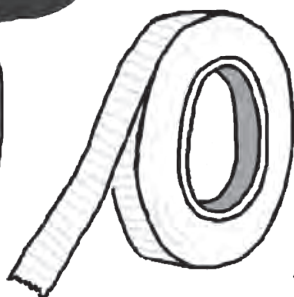
# つくる方法 つける

## テープ



### ガムテープ

「ガムテープ」は総称。  
 ・クラフトテープ(紙製)  
 …重ね張りができない。  
 ・布テープ(布製)  
 …手でちぎりやすく、重ね張りができる。



### 両面テープ

表面・裏面の両方に糊がついている。紙用のものが一般的だが、木やゴム、プラスチックなどを接着することができる強力なものもある。



### セロハンテープ

セロハン製のテープ。新しいものは無色透明だが、時間が経つと劣化して黄ばんでしまうので、長く保存したいものの接着には不向き。



### マスキングテープ

彩色する際に、色をつけない箇所を保護するために用いられる。最近は装飾用に様々な模様がつけられたものも発売されている。

## 接着剤

接着剤には、紙用・スチロール用・金属用など様々な種類があります。材料に適したものを選ばないと材料を痛めてしまったり、うまく接合できなかったりする原因となるので注意が必要です。



### 水糊・スティック糊

主に紙を接着するのに用いる。水糊は比較的接着力が高いが、塗りすぎると紙に印刷されたインクがにじんだり、シワがよってしまったりするので注意。



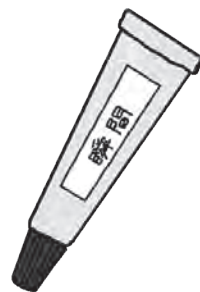
### 木工用接着剤

木材を濡れた布で拭いてから塗る。木材同士を擦り合わせるときれいに糊づけができる(はみ出した分は拭き取る)。乾くまでは圧着すること。



### スチロール用接着剤

発泡スチロールやスタイロフォームなどの素材は瞬間接着剤などを塗ると溶けてしまうため、専用の接着剤を用いる。液状のものが一般的。

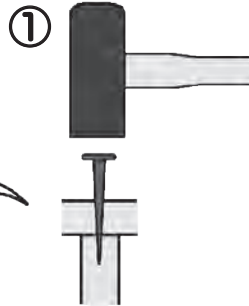
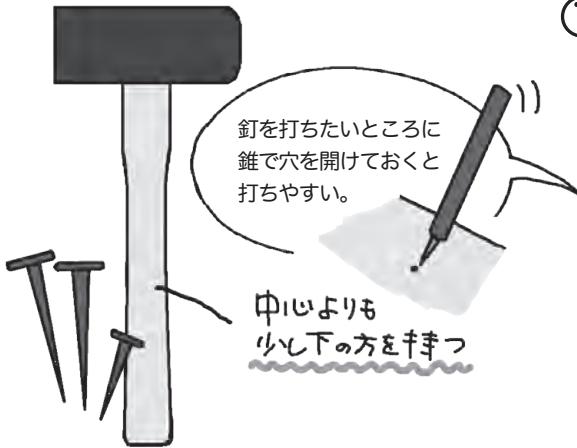


### 瞬間接着剤

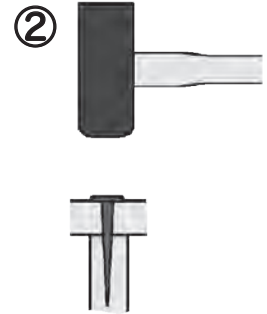
接着剤の成分と空気中の水分が化学反応を起こすことで瞬時に接着される。剥がす際は無理に引っ張らずに「剥がし液」を用いるとよい。

# つくる方法 つける

## げんのう・釘

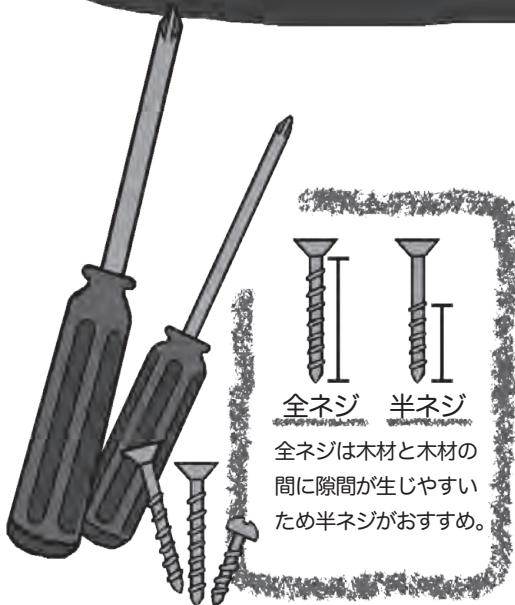


材料の2.5倍ほどの長さの釘を選んで下さい。打ちはじめは平らな面を使います。

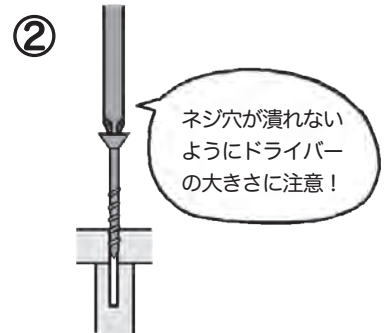


最後はまるい面を使って打ち込みます。平らな面で打つと木材が傷ついてしまうので注意!

## ドライバー・ネジ



ネジを締めたい箇所に錐で下穴を開けます。穴の直径・深さはネジの7～8割程度が目安です。



下穴にネジを置き、ドライバーで締めていきます。少し押すように力をかけながら締めるとうまくいきます。



# むすびにかえて

わずか 32 ページのこの冊子のなかで図工授業についての全てを語ることはできません。先生方が図工について考えるための手がかりとなる「エッセンス中のエッセンス」を示したに過ぎないのです。

ただ、これをきっかけに先生方それぞれが自ら表現経験をしてみたいと思ったり、児童の表現のなかに現れ出ている様々な内的な声を読み取れるよう努めたいと思っていたら、本冊子の目的は果たされたといえます。

本冊子で取り上げた質問以外にも、まだまだ図工授業について沢山の聞きたいことや知りたいことがあると思います。

それについては、私なりの考えでお答え致しますので、以下で掲載したメールアドレスまでぜひご連絡ください。

図工の授業の充実は、図工に留まらず他教科の学力向上とも密接に結びついていることが、私の現在の研究から明らかとなってきています。

小学校の先生方が、戸惑いながら図工の授業を進めるのではなく、確かな自信をもって授業に臨めるようになれば、小学校教育全体の質が大きく変革していくことになるでしょう。

先生方には、そのための地道な努力を続けていただくことを願って、本冊子のむすびの言葉としたいと思います。

埼玉大学教育学部 芸術教育講座美術分野

こざわ もとひろ

**小澤 基弘**

1959 年生。現在、埼玉大学教育学部教授として絵画及び美術教育を指導している。画家としての活動と同時に、『絵画の制作』『絵画の思索』『絵画の創造力』（共に花伝社）単著三部作シリーズや、『絵画の教科書』『絵画の制作学』『創造のたね』（共に日本文教出版）編著 3 部作シリーズ等、絵画や美術教育に関わる著作も多数出版している。また、中学校美術科／高等学校美術の教科書（共に日本文教出版）の著作者の一人でもある。

**大学用メールアドレス： [mkozawa@mail.saitama-u.ac.jp](mailto:mkozawa@mail.saitama-u.ac.jp)**

埼玉大学教育学部小澤研究室編著（小澤基弘・八桁健・有原穂波・荒田真弥）  
イラスト：有原穂波

本冊子のベースとなる小学校教員を対象とした現場リサーチとその分析については、科学研究費：基盤研究（A）「図工・美術科教員の教師力養成のための教員研修プログラム構築とその効果に関する研究」（課題番号：15H01988）の助成を受けた。



# 図画工作のあれこれ

## Q&Aと用具の解説から知る授業の基本

---

日文教育資料[図画工作]

平成28年(2016年)3月31日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社  
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33300

# 日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690